



緑西LETTER

vol. 6

緑西直言



「兵庫医科大学卒業生の絆と誇り」

三木メンタルクリニック
三木 和茂(H元卒)

緑西会会員の先生方、こんにちは。JR西宮駅南側で、三木メンタルクリニックを開業しています、三木和茂でございます。

平成14年4月から開業をしていますが、それまでは神戸市北区の病院に勤務していました。開業場所を探すにあたりまず勤務地である神戸市を一番に考えましたが、母校のある西宮市の魅力が大きく、気が付くと西宮市内で探し始め、現在の地に落ち着きました。兵庫医大精神科神経科医局に所属していたため数年間は大学病院でお世話になりましたが、その後は神戸市で約10年、数年間は加古川市内の病院で非常勤勤務を続けていたため、西宮市に帰ってきたのは良いが今浦島状態で、近隣に知り合いの先生はほとんどおられませんでした。そんな中、市内で開業をしている精神科の先生方が温かく仲間に迎え入れてくれました。そうこうしているうちに徐々に近隣の先生方から患者様のご紹介を頂くようになりました。お話をしてみるとその先生方の多くが兵庫医大をご卒業の先輩方でした。開業当初は患者さんが坊主の日も覚悟をしていましたが、幸い坊主の日はなく、日々新しい患者さんが増えながら、現在に至っています。これもひとえに兵庫医大という絆の賜物だと感じています。今回この『緑西直言』を書かせていただく事になったのも、保科先生からのお話です。本来こういった文章を書くことは苦手なのですが、等身大で書かせていただく事にしました。

ここ数か月で幾つかのうれしい出来事がありました。以前から各郡市区医師会、県医師会等で卒業生の先生方が役員としてご活躍をしていることは存じ上げていましたが、研修会の講師としても数多くの

先生方がご講演をされているのに出会いました。また、先日東京に行っていた時に研修室の廊下を歩いていると数人の方から声をかけられ、振り向くと同窓の先生方でした。兵庫県内に限らず、全国津々浦々でご活躍だと懐かしさとともに改めて誇らしい気持ちにさせられました。

当然のことながら、大学に残って研究・臨床にご活躍の先生方も多数おられます。他の大学や研究機関で頑張っておられる先生方のお話を聞く機会も多々あります。私は精神科ですが、他科の講演会にも時々出かけることがあります。顔を見かけたらお声をおかけください。

現在は日々の臨床以外に、西宮市の認知症問題や、市立・学校の精神保健問題、高齢者・障害者の権利擁護問題、産業保健におけるメンタルヘルス関連の仕事が多くなっています。わからないことも多々あります。緑西会会員の先生方のお力をお借りする事もあると思います。その節は何卒よろしくお願いたします。

還暦を過ぎ、そろそろ引き際の事も考えながら日々の診療を行っています。所謂ビル診です。できれば兵庫医大の後輩にバトンタッチができれば嬉しいと思いつつ、10年先か、15年先なのかと思いを巡らしている今日この頃です。

西宮市民が、そして我々医者が仕事をしやすく、住みやすい街、西宮市を目指し、会員の皆様とも手を携えながら、もう少し頑張ろうと思っています。宜しくお願いたします。

バブル景気の頃に学生でした、あの頃を思い出して…



おぐしクリニック

小串 伊知郎 (H2卒)

保科先生から「緑西レターへ母校愛に満ちた原稿を」との依頼があり平成最後の師走にこの原稿を書いています。

「了解しました。」とはいったものの「一体何を書いたものやら…」ということで、思い出すがまま私の兵庫医大在学中の生態を書いてみようかと思えます(既に依頼の趣旨から外れております)。

私は西宮の県立高校を卒業し2年浪人したのち昭和59年(1984年)に兵庫医大に入学しました。

数年前、某私立医大で献金等の問題がメディアで大々的に取り上げられたこともあり、合格はしたものの喜びというより「3浪せずに済んだ。」という安堵感と「親に多額の学費を負担してもらわねばならない。」という申し訳無さで、少々複雑な思いを抱いて入学した記憶があります。

しかし現金なもので入学後2、3ヶ月もする頃には起床時間が10時頃となり午前の授業はほぼ出席せず12時頃に登校し午後の実習から出席するというような生活となり、初心はほぼ完璧にどっかに行ってしまう絵に描いたようなテキトーなそして自由過ぎる学生生活となりました。

大学全体の空気ものんびりしており授業の出欠も甘かったように記憶しています。代返(死語)、出席カードをもらった後に席を移動してもう一枚出席カードをゲットして不在の同級生のカードを代わりに記入等もよく行われていました。

当時、日本はバブル景気のピークで世間の空気は少々羽目を外した学生の行動に寛容で、大学も同様だったように思います。

お酒に関しても大学生は飲酒OKと言う様な暗黙の了解が社会全体にあったように思います。各クラブの新入生歓迎コンパは現在では恐らくアルハラになってしまうような事がごく当たり前にあり、飲酒年齢に関して現役入学生は法に抵触してしまう年齢ですがほぼ全員に近いほど当たり前にお酒を飲んで(飲まされて?)いたように思います。

私も剣道部に入部していましたが稽古の後にはほぼ兵庫医大ご用達の居酒屋「千穂」に入り浸っており

入店は暖簾が出る30分前、店を出るときは千穂の暖簾がしまわれていたこともありました。剣道部と千穂の出席率は恐らく大学の授業の出席率より良かったのではないかと思います。

あと都市伝説ならぬ兵庫医大伝説みたいな話も色々あったように思います。解剖のテストの口頭試問で教授を笑わせるとマルがもらえるとか、某内科のテストは教授の出題範囲は1の選択肢が多く助教授(今は准教授ですね)の出題範囲は5の選択肢が多い等の根拠のない怪しい情報がテスト前に飛び交っていたことを思い出します。

大学では見かけることが無いけどディスコに行けば絶対会える先輩もいるなんて噂もありました。それとピンクのセリカ(だったはず)があったのもびっくりした思い出があります(私が入学当時4年生の方が乗っていたと思います)。今でこそピンクのクラウンをトヨタが売る時代になりましたが、まさに時代を30年先取りするような自動車だったと思えます。

今は新しい病棟、教育棟が建ち私の学生時代と変わらないものは阪神電車からよく見えた1号館ぐらいいになり時代は変わったなあと思えます。

兵庫医大も国試の合格率はほぼ毎年上位に顔を出すようになりました(これは非常に喜ばしいことです)。その代り当時の私の学力で今の兵庫医大の偏差値では入学できませんが…。

思えば景気の良い時代に自由な空気のある社会、そして寛容な雰囲気のある大学で自分の好きな時に好きな事をやっていました。自分の人生の中でもほんとに気ままに好き放題にしていた時代だったと思います。好き放題やりながら、そしてあまり勉強ができなかった私でも国家試験に合格させて医師にしてくれた兵庫医大にはいろいろな思い出とともに本当に感謝しております。

卒業して医局に入局して研修医、研究生、勤務医そして開業医になりましたが、卒業してからは何にも考えず日々ぼんやり思いつくがままに過ごすという事がほぼ無くなりました。

こういう表現は本来変なのでしょうが「本当に充実した無駄時間だったなあ、無駄と言うのも悪くないなあ。そういう時間をくれた兵庫医大に有難う。」などと思っております。

長くなりましたのでこの辺でペンを置きます。

兵庫医科大学第2学年次早期臨床実習を体験して



まつだ整形外科クリニック

松田 清嗣 (H7卒)

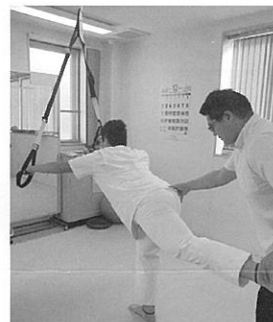
2018年11月、12月に兵庫医科大学より依頼されていた早期臨床実習（診療所編）を行いました。学生たちは非常に緊張した面持ちでやってきました。当院の診療開始時間が8時30分ということもあり、集合時間は8時15分、学生にとってはとっても早い時間に来ていただきました。ロッカーにて白衣に着替えていただき、本実習に関して学生たちの意見を聞きます。この実習で何を学びたいか、何を体験したいか、自分が思っている医療と実際の現場との違い等々を語り合います。そこで少し緊張がほぐれたのか学生たちも少しずつ会話してくれるようになり実際の診療開始。当院は整形外科ということもあり、患者数が多いのでいちいち傷病の説明はせず、どのようにして患者とコミュニケーションをとっていくか、病歴の取り方、検査の手順、そこからの診断までにたどり着く過程、治療計画の立て方という診療の流れを見てもらいました。学生たちは熱心にメモをとり、時折質問もしてくれるようになり和気あいあいとした雰囲気の中で1時間診療見学。その後1時間は当院での運動器理学療法を見学してもらいました。当院はスポーツ選手の外傷が多いのでアスレチックリハビリテーションを行っています。今回参加してくれた学生たちはバスケ、アメフト、スキー部と全員が運動部でしたので実際の動作訓練がどのようなアプローチで行われているか、治療と並行して行われる競技復帰までのプログラムの作成、達成度の評価と理学療法士の先生とともに2人1組で実習していただきました。運動に必要な柔軟性を向上させるプログラム、筋力を向上させるプログラム、それらを総合して行う運動連鎖について勉強してもらい人間の動きを科学する、スポーツを科学する楽しさ、面白さを講義してもらいました。最後の1時間は再び外来見学を

してもらい、午前の実習終了。その後は質問タイム。

実習の内容だけではなく、学生生活、勉強等々学生の質問は多岐にわたり中でも印象に残ったのは基礎医学が難しく、頭に入ってこないという点でしょうか。そういえば私が学生時代は臨床の勉強が大好きで、基礎医学の勉強はおろそかだったような気がします。ただ、自分の研究は運動生理学であり、治療の基礎となっているのはすべてが基礎医学に基づいているものであり、とても重要ですが臨床に役立ち、良医になるためには必要であることを説明しました。学生たちは非常に素直に理解してくれたようでこの辺りが兵庫医大生のいいところかなと思います。また、患者さんとのコミュニケーションをとっていくにあたって遊びもそうですがいろいろな人生経験が必要だということもお話ししました。やはりいろいろな立場の患者さんがいるわけでそれぞれにその方の立場に寄り添った治療選択、説明も必要となってきます。いろいろな経験、知識を広げていくとそれが可能となっていくわけです。勉強しながら遊びもスポーツも思いっきりやるように!!とすべての兵庫医大生に伝えたいです。

昼食は学生と理学療法士と一緒にとりました。そこではなぜ医者になろうと思ったのか、学生生活は今はどうなのか、将来どんな医者になりたいのかなどなどいろいろ語り合いました。今の学生たちは私たちが在学していたころとは全く違って真面目で、優秀でそして一生懸命でした。しっかりと目的意識をもって学生生活を送っており、私が在学中に送っていたフワフワとした学生生活とは大違いです。

今回この実習で学生たちと触れ合うことによって私の医師としての原点を見直す良い機会となりましたし、ますます兵庫医大への母校愛が強くなりました。ぜひとも来年度も実習の要請があれば受け入れたいと思います。頑張れ！兵庫医大生！



TRXを使ったトレーニング風景

開業のご挨拶



皮フ科 かわさきかおりクリニック

川崎 加織 (H16卒)

はじめまして。H16年卒業の川崎加織と申します。緑西会の役員をされているまおかクリニック浜岡守先生とは同級生という御縁から、今回貴重なページを

頂戴する機会を頂きました。少し自己紹介をさせていただきます。

私の出身地は淡路島の洲本市です。高校卒業までは自然がいっぱいの環境で育ちました。兵庫医大の入学試験の際は現在はなくなってしまった高速艇で受験に行き、4月の入学式の際は完成したばかりの明石海峡大橋をドキドキしながら通ったのを覚えています。大学の6年間は仲間や環境に恵まれ、遊びも勉強も充実した楽しい生活を送れました。卒後研修はスーパーローテーションシステムの初代の学年でした。私は兵庫医大病院での研修と皮膚科入局だったのですが、先輩方

の教えと患者様との出会いより、沢山の貴重な経験をさせて頂きました。この時期に当時、循環器内科の大学院生だった夫（兵庫医大H.9卒。現・森之宮病院循環器内科部長）と出会い結婚し、その後子供ができてからもペースダウンした時期はあったものの、専門医取得と博士課程終了、市中病院や美容クリニック勤務など、何かしら継続して仕事を続けてきました。そしてこの度、思い切って昨年11月に阪神西宮駅エビスタ西宮内で皮膚科クリニックを開業致しました。

当院は新生児からシニア世代と幅広い皮膚科一般の診療と、保険診療では賄えない症状については美容医療を提供しています。最新のシミ取りレーザーやたるみ治療、発毛治療、アートメイクなどの施術を得意としておりますので、ご興味のある方がおられましたら是非ご紹介下さい！

医師としても経営者としても未熟ですので、近隣の開業医の先生方をはじめ、先輩方には色々とお教えを頂きたいと思っております。今後お会いする機会がございましたら、どうぞ御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

泌尿器小手術・在宅医療

医療法人社団 優会

<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">よしおかクリニック 泌尿器科</p>	<p>吉岡 優 (昭和63年卒/硬式テニス部) 段上町1-2-34 tel 57-5535</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">なかおクリニック 泌尿器科</p>	<p>中尾 篤 (平成9年卒/軟式テニス部) 相生町6-37 tel 74-5515</p>

段上町1-2-34 **TEL 57-5535**

何でも気軽に相談できるクリニック

消化器科・内科・外科・肛門科

平川クリニック

平川 一秀
(平成2年卒・アメリカンフットボール部)

緑西きっての愛妻家

愛車・速い車・趣味・ゴルフ

大屋町12-20 **TEL: 66-8080**

兵医新入生のみなさん 入学おめでとう！

hoshina eye clinic

ほしな眼科クリニック

保科 幸次 (平成3年卒/ラグビー部)

We love
H.C.M!

■ 門前町3-2 **TEL:65-0095**

■ URL <http://hoshina-eye-clinic.com/>

医療法人 誠豊会 **日和佐医院**

日和佐 眞名
(平成4年卒・アーチェリー部)

毎日、笑顔をもっとに
がんばっています。

■ 田代町18-11 **Tel:65-8534**

医療法人社団 **すぎもとクリニック**

杉本 智彦
(平成6年卒・アーチェリー部)

なんでも
ご相談ください！

■ 室川町5-25 **Tel:76-0008**

皮フ科
かわさきかおりクリニック

川崎 加織
(平成16年卒)

“おこさまの治療から、ダンディな先生方の美容診療まで
(もちろんママも!) お任せください!”

■ 田中町1-6エビスタ西宮3F **Tel:23-8600**

編集後記

こんにちは皆さま！おかげさまで緑西レターは第6号に到達し、本号は兵医新入生にもお届けしています。6月15日総会には、救急部の平田先生、新病院長の阪上先生のお二人の御講演、そして太

城理事長、野口学長をお招きし、皆でワイワイやりたいと思っております。緑西会のみならず、緑樹会の先生方も多数、ご参集ください！

広報部・濱岡守 (H16)、保科幸次 (H3)

兵庫医科大学同窓会緑樹会西宮支部

緑西会会員数 150名

(H31.4.1現在)

緑西LETTER

発行日/平成31年4月1日 発行人/大江与喜子

代表世話人/吉岡 優

印刷所/株式会社小西印刷所